



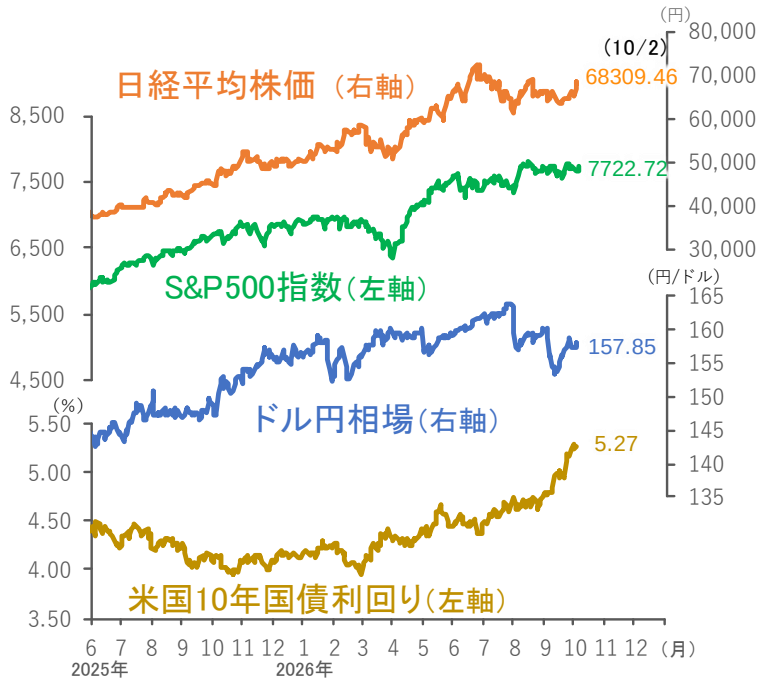
マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.10.5

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、日・米・欧の追加利上げ観測や主要国の財政悪化懸念を背景に、長期金利の上昇が世界的に広がりました。10年国債利回りは、米国が一時24年ぶりの高水準となる5.3%台に上昇、日本は30年ぶりに3.1%台まで上昇しました。一方、株式市場は、金利上昇に対する懸念とAI関連投資増大に伴う企業収益の拡大期待の間で強弱感が交錯し、主要株価指数の動きは高安マチマチとなりました。週間騰落率では、S&P500指数は▲0.3%、ナスダック総合指数は同+0.5%、独DAX指数は同▲0.7%、日経平均株価は同+2.9%と続伸しました。ドル円相場は、157円台半ばを中心にもみ合いの展開が続きました。

今週は、内外長期金利が落ち着きを取り戻すかが焦点となります。9月米雇用統計が予想を下回り、10月FOMCにおける利上げ観測は後退しているものの、最近の金利急上昇を受けて各国債券市場の価格変動率（ボラティリティ）が高まりやすくなっている点には注意が必要です。

当面の注目イベント

- ◆日・臨時国会召集(12月12日まで) (5日)
- ◆グローバル9月総合PMI (5日)
- ◆日・植田日銀総裁挨拶(全国証券大会) (6日)
- ◆日・8月実質賃金総額 (7日)
- ◆米・9月NY連銀消費者インフレ期待 (7日)
- ◆日・日銀 地域経済報告(さくらレポート) (8日)

9月米雇用統計は予想を下回る弱い内容となりました。非農業部門雇用者数は+2.9万人(予想+9.0万人)に留まったうえ、既報の過去2ヵ月分が計6万人下方修正されました。失業率は4.1%→4.2%に上昇しました



【出所】Haver Analytics、BLSの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

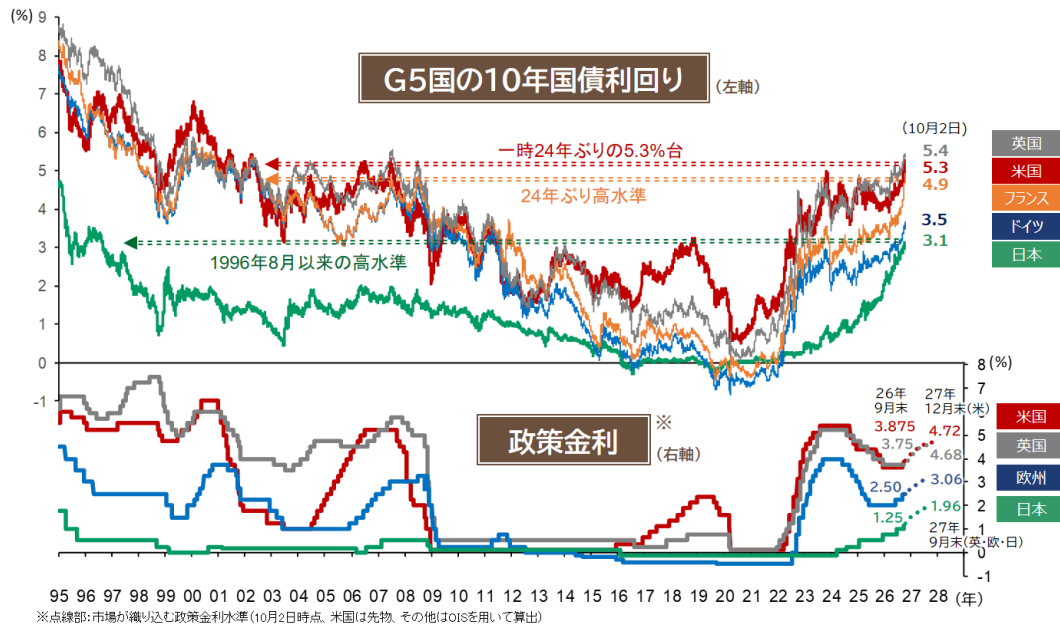
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

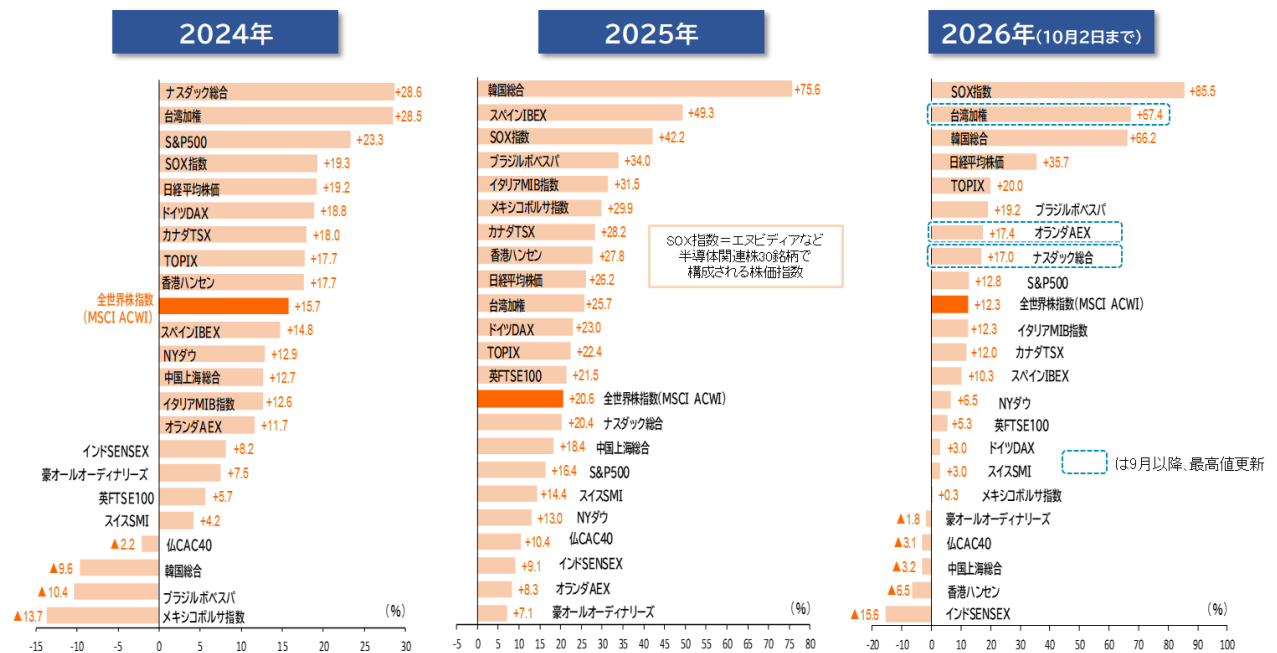
RESONA

日・米・欧の追加利上げ観測などから主要国の10年国債利回りが一段と上昇しました。米国とフランスは24年ぶりの水準まで上昇、英国は19年ぶりの高水準、日本は1996年8月以来となる3.125%まで上昇しました



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

長期金利上昇にもかかわらず、株式市場はAI(人工知能)・半導体株を牽引役に、総じて底堅さを保っています。関連銘柄の比重が高い台湾加権、ナスダック総合、オランダAEX指数は直近2週間で最高値更新しています



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今回は 2026年10月13日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。